

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習 5	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	岡本 和士		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、ボールペンの商品企画を行い、与えられた条件の中で、アイデアを展開し、３Ｄプリントするに必要な技術と操作を理解します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つデジタル技術を実践的な実習から学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画提案」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、ボールペンのデザインの実制作に取組むことでデザイン提案をプロセスから学び、アイデアスケッチ・２Ｄ作図・３Ｄモデリング３Ｄレンダリング・３Ｄプリント、モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型デザインで、検証を重ねながらプロトタイプینگし、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材 の選択、サイズの決定、カラーの選択、仕上げの選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、講師からの３Ｄモデリングの制作技術の解説を受けます。３Ｄプリンターの使い方、操作して出力が出来る一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「３Ｄデジタルの技術」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「企画したボールペンのデザイン」を自分自身の実践し、提案できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、より高度な実習として学生に３Ｄモデリングが出来る一連の流れを、実習を通して学び、デジタルデータを作成します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（１回～１５回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
１回	ボールペンのデザイン①		課題説明 ボールペンのリサーチと前例の紹介		
２回	ボールペンのデザイン②		ボールペンの構造把握・簡易３Ｄモデリング		
３回	ボールペンのデザイン③		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
４回	ボールペンのデザイン④		コンセプト立案とアイディアスケッチ		
５回	ボールペンのデザイン⑤		作図、３Ｄモデリング		
６回	ボールペンのデザイン⑥		作図、３Ｄモデリング		
７回	ボールペンのデザイン⑦		作図、３Ｄモデリング		
８回	ボールペンのデザイン⑧		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
９回	ボールペンのデザイン⑨		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１０回	ボールペンのデザイン⑩		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１１回	ボールペンのデザイン⑪		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１２回	ボールペンのデザイン⑫		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１３回	ボールペンのデザイン⑬		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１４回	ボールペンのデザイン⑭		レンダリング モデル制作 ３Ｄプリンター出力		
１５回	提案発表		プレゼンボード 講評会。全体のまとめ		